

龍
龍

源
出
地
記

下

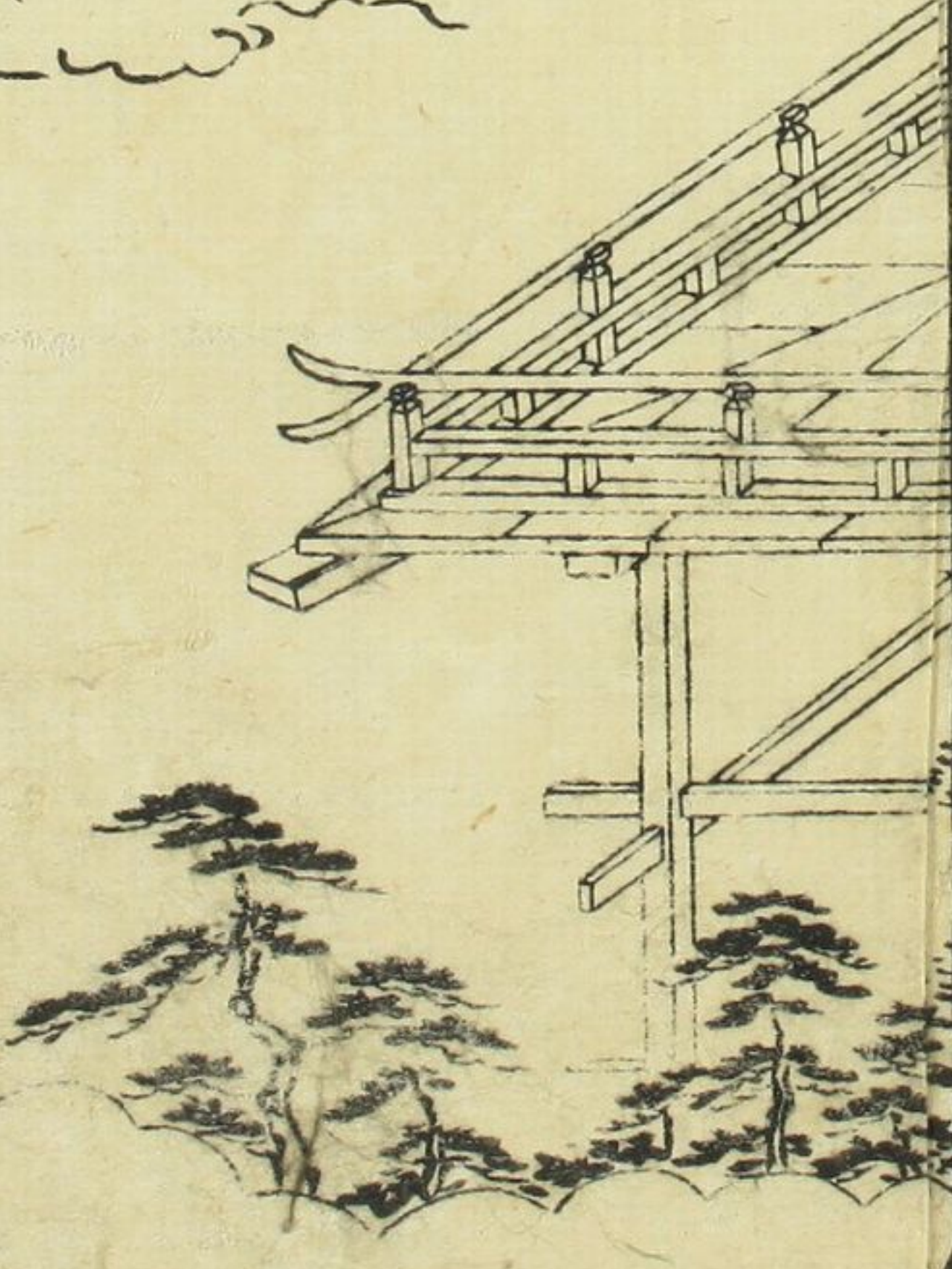


書
山
石
琴

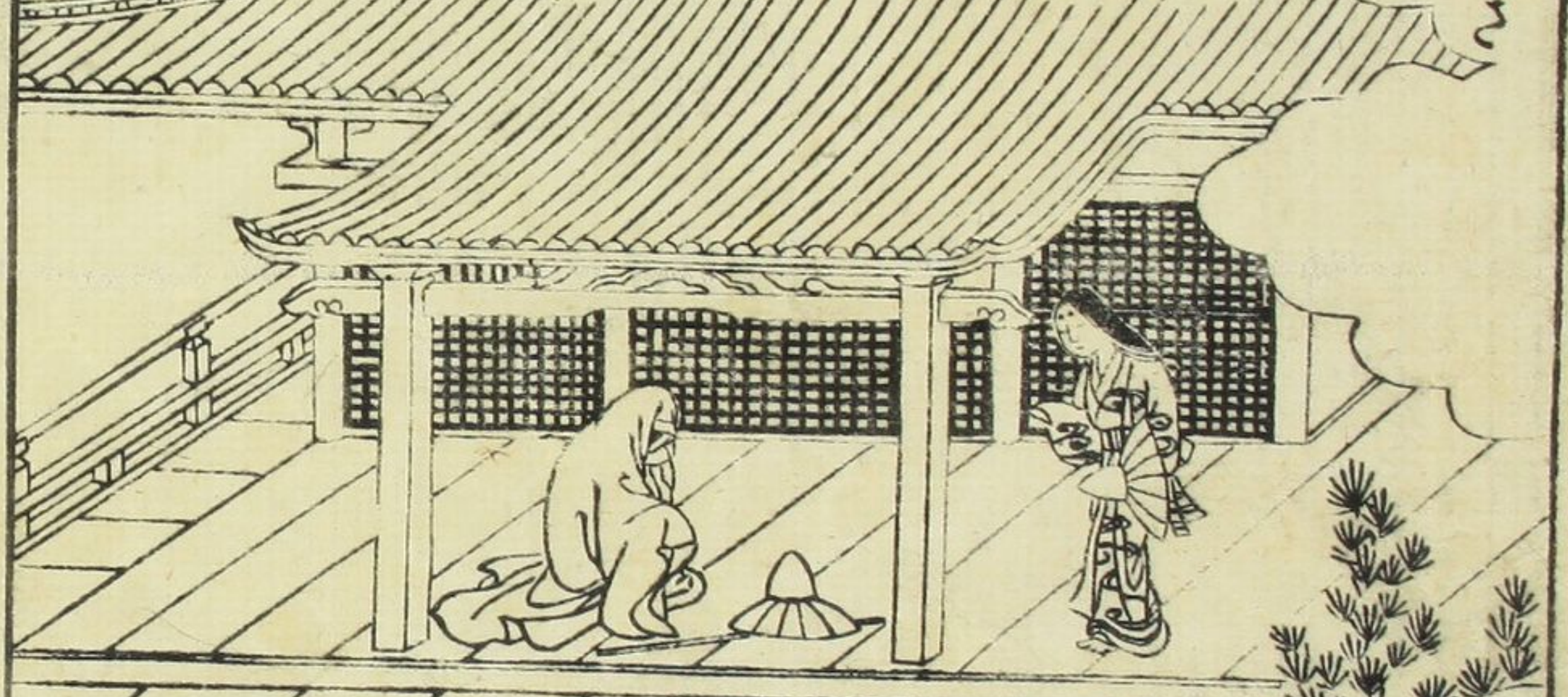


びう—クゑゑ
 のまのぬめのし
 まり—たつた
 二条院のまゝ
 一としを東てふて
 には小倉をうて
 びりののり云々
 堀—さつさり
 つりしは源氏達
 甲子の—
 かくるをふたひ
 のちねの—
 乙巳の—
 丙申の—
 丁酉の—
 戊戌の—
 己亥の—
 庚子の—
 辛丑の—
 壬寅の—
 癸卯の—

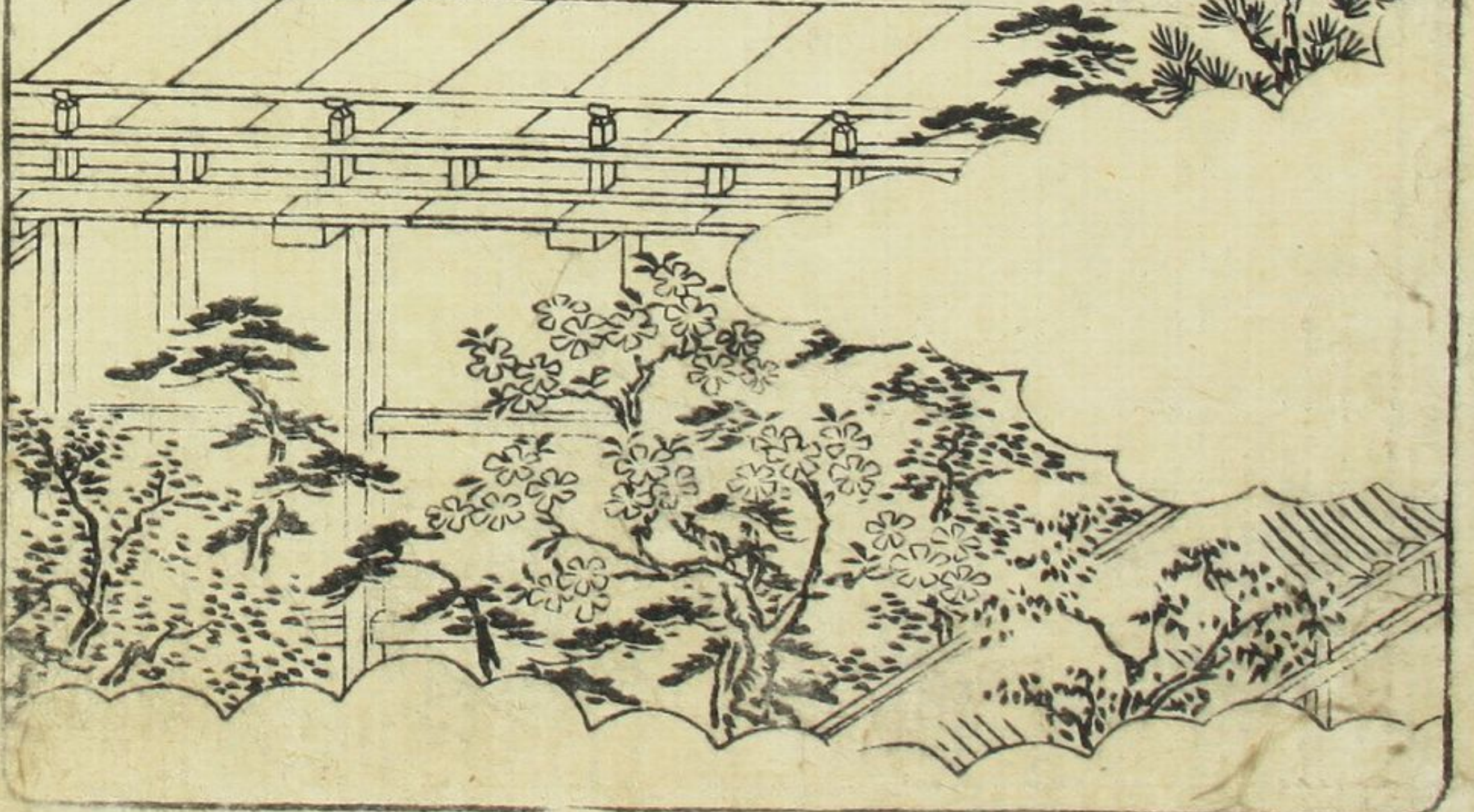
甲子
 乙丑
 丙申
 丁酉
 戊戌
 己亥
 庚子
 辛丑
 壬寅
 癸卯



玉のつゝのぬい
 れりらほり
 りふせやう
 けりせむい
 りいしむれむ
 えかむひ
 のちりて
 やりてか
 けりてか
 けりてか
 けりてか
 けりてか
 けりてか
 けりてか
 けりてか



下ノセ

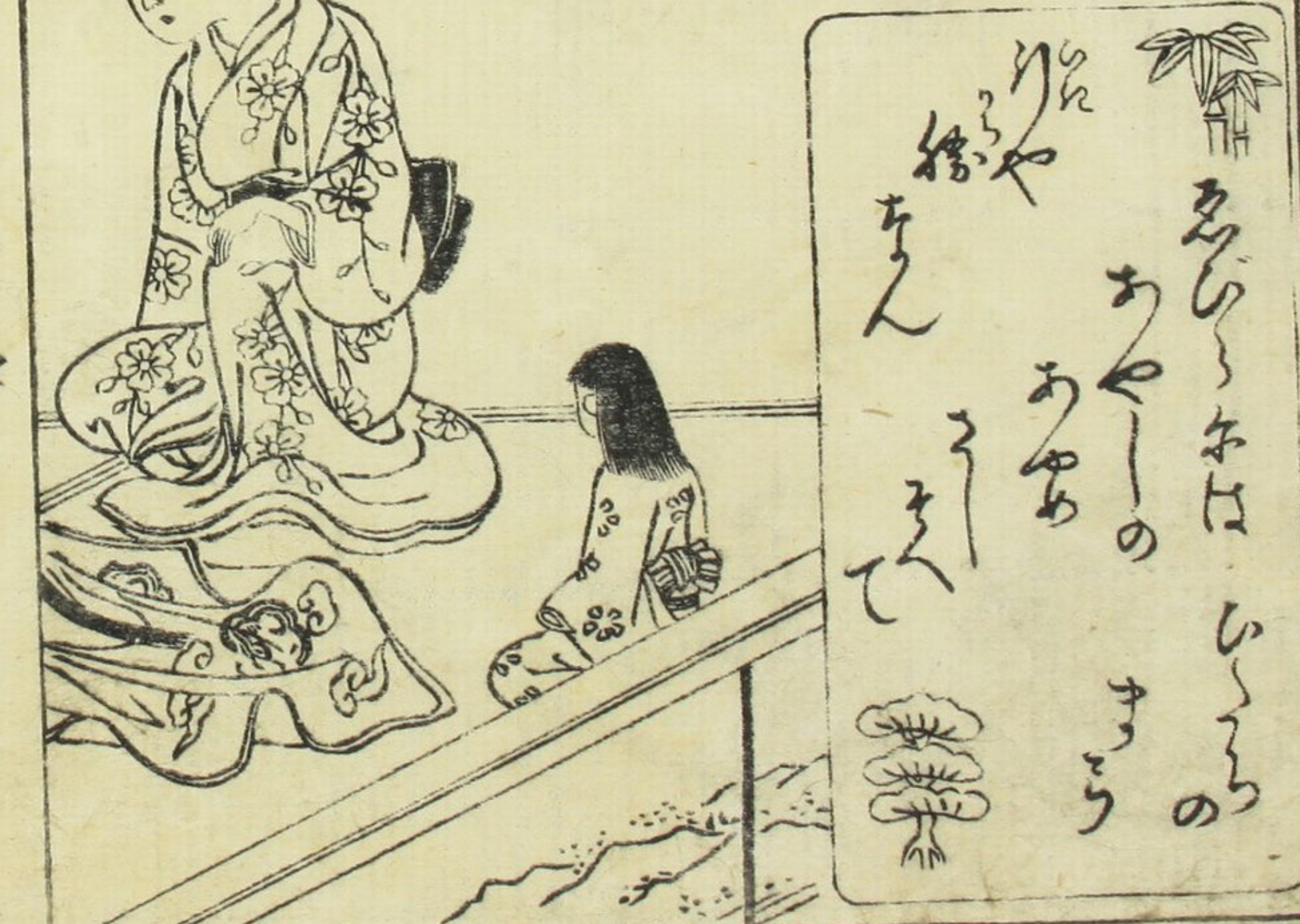




多ふ東風のあつた
 ふうふつとつとつと
 西の礼れおつ
 けいあつとつと
 大姫君まはるの姫君し
 びくくゆへ風と心の
 ささきく礼れおつとつと
 ささきく礼れおつとつと
 はうこの幸おま
 大姫君のおりし人し
 うつとつとつと
 うはちうゆへ花
 さればきくく
 ちくさくくくく
 ちく大姫君のくくく



大姫君は
 中姫君は
 と右姫君は
 翻文の
 姫君は
 ばさささ
 て姫君は
 大姫君は
 あささ
 けりくくく



大姫君は
 あささ
 あささ
 ちく
 ちく
 ちく

下四

して優りなりし
 女の中娘君らう

風うららかに花を
 こころのこころの
 こころのこころの

後ものこころの
 ひろいておき

大空の風うら
 ちのたれさ

梅のつゆひあ
 りら

あはれ
 りあはれ
 りあはれ
 りあはれ

下へ



い
 り
 ね
 ち
 び
 ち
 る



ひろのちが中娘のつとつとあはれなげつとて情の道ふも
 づくんくつとえをさるるまうとつとつとあつと中ふた色の
 廿三ころりのやとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 ゆらされつと人おとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 はんつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 よしつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
 あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

の道

十之五

つら連

王子の狩の

まぶ
山鳥

あり

くひ
喉

あべ
尔

なつて

下七

繪本蘭表待

二巻よりして岩津と感せし
は有りしなりとらめり
名女欠女の山と集録氏中
を笑女の女はあふふとのす
法が細玄の松さしはあつて
今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

同 凍見草

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

同 盤子山

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

同 喜草

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

同 和衣海

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

同 百物語

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全二冊

女前虫大全

百人一その伝古今集
のよき書とありあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全を冊

女學則

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全を冊

女虫札百巻考

今世人のおえとあつて集
録相その中とありあつて
申さる繪本一巻なり

全を冊

女中往来珠海

春より冬までの書ありあつて
西向く書の外一切は
女中往来珠海

全を冊

えん 水園 雑考 後抄抄るのやを
とるのしこしこしとせき
えん

明和十癸巳年正月

名教系交遊 少三冊

ふのおいふはふりしこりきりしかりし
終 月んをり

橋際 日本橋通 四冊
士口又字屋 市三軒

東都 吉口又字屋 市三軒

繪本凍夜物語 今三冊

同 千の山 日三冊

同 和舞の園 日三冊

同 言善果の花 日三冊

同 花鏡かみ 日三冊

同 衣志人合 日三冊

小登小断風難 若入

女抄事苑探物 今三冊

女要國字文式 給一冊 女子載 國文 一冊

孝好子たあま屋 一冊 都百人 一冊 一冊

